

NEWS!!! 都会の中に眠る化石

ビルの内装によく使われる大理石は石灰岩が変成を受けてできた岩石で、変成の度合いによって色や結晶の大きさが大きく異なります。パー君はこれまで、都会のビルに使用されている大理石の特徴とそれに含まれる化石の調査を2回にわたって行いました。天王寺の地下は化石の宝庫。地下鉄からアポロビルへ向かう通路に使用されている大理石には、巻貝や二枚貝の化石が濃集しています。壁の汚れに見えるのもいやいや実は、化石なんですね。梅田地域の化石の見どころはなんとといってもHEPという商業ビルです。ロッソプロカートという種類の赤茶色の大理石に、直径15センチの見事なアンモナイトが観察できます。



この岩石には大型のアンモナイトがよく含まれています。目が慣れてくれば、次々とアンモナイトを発見することができます。左の写真はアンモナイトの輪切り断面の写真です。ではみなさん、アンモナイトの縦切り断面の形は想像できますか？簡単なかな？答えは次回調査で自分で見つけてみてくださいね！

この他にもベレムナイトやウニ、サンゴ、オウム貝など様々な化石が観察できます。調査の詳細はまた報告させていただきます。あなたも今日から、壁に目が釘付けになりますよww

部員紹介

西村 充

大阪市立大学理学部生物学科1回生



好きな古生物 アノマロカリス
好きな生物 アロワナ、コリドラス、ポリプテルス
好きな作家 森見 登美彦
趣味 アクアリウム、読書

アノマロカリスとは...
カンブリア紀の巨大生物である。前端に大きな刺のついた付属肢を持つことから、肉食動物だと考えられている。

コラム おもしろ論文①

Godzilla from a Zoological Perspective
Per Christiansen



恐竜の論文を探してたらまたまたヒットしたこの論文。1998年のアメリカ版ゴジラを、体の大きさ、脚の強度、生理学的側面から、わりと真面目に検証している・・・のだが、この作者、最後に「怪獣だからしょうがない」的なオチをつけやがった。今までの真面目な議論は何だったんだよう！この論文、よく掲載されたなあ。

余談だが、空飛ぶ怪獣の例として、モスラやキングギドラに混じて「Rodan」というのが挙げられていた。これはラドン(Radon)の誤植だろwwwと思いきや調べてみると、どうやら英語ではこういう表記をするらしい。へー。勉強になるなあ。(全く役に立たないけど)



ティラノサウルス・レックス

学名 *Tyrannosaurus rex*
中国名 霸王龍
分類 恐竜・竜盤目 獣脚亜目
コエロロサウルス下目
ティラノサウルス科
生息年代 白亜紀後期
マーストリヒト期
生息地域 北米
全長 12~14m



1m超の顎には最大18cm(歯槽部分を含むと30cm超え)のバナナ状の歯があり、ステーキナイフのような細かいギザギザ(セレーション)があった。さらに、先端は丸みを帯びており、肉を切り裂くよりも、骨を噛み砕くのに適している。

今後の予定、イベント情報

活動予定(5、6月)

- 5/22 きしわだ恐竜教室
- 6/1 勉強会
- 6/22 勉強会、JP通信第2号発行

イベント情報

- ▶ 大恐竜展in東京タワー 3月19日ー6月12日@東京
- ▶ 日本古生物学会年会 7月1日ー7月3日@金沢
- ▶ 恐竜博2011 7月2日ー10月2日@東京